

銀座で農業教えます

生塾来れ

都市から食や農の大切さを発信しようと、東京・銀座で15日から、農業生産に関する知識や農産物流通の仕組みなどを知ってもらおう塾がスタートする。その名も「銀座農業塾」。農業分野で活躍する知識や経験を養ってもらい、農業に取り組む仲間を増やしたい考えだ。

仕掛け人は、特定非営利活動法人(NPO法人)「銀座ミツバチプロジェクト」の理事長で、農業生産法人「アグリクリエイト」東京支社長の高安和夫さん(42)。アグリクリエイトは、茨城

流通を専門的に

県稲敷市で米30粒を中心に野菜などで環境保全型農業を展開。銀座にある東京支社は、環境リサイクルと営業を行う。高安さんは農業塾では塾長を務める。

世界的に不安定な食料

NPO法人 15日に開講

需給環境や、食の安全・安心への高まりで、「農業に興味を持つ人は増えている。何から始めたらいいか悩んでいる人も多い(高安さん)」と、営業支援の方法を検討してきた。マーケティングを意

就農相談もOK

識した農業経営の習得を目指してもらおうと、コースは「入門」と「実践」の2つを用意する。



農業塾の受講対象は心身ともに健康で、農業分野について積極的な考えを持つ人。年齢、性別、国籍、学歴は問わない。



入門コースは、週1回計10回の講義を予定。農業者や農産物流通に関する専門家、行政書士、税理士らを講師に、生産現場の実態のほか、ビジネスとして取り組む際に必要な関連法、流通の仕組みなどを学ぶ。来秋に開講予定の実践コースは、講義だけでなく圃場(ほ

受講料は入学金(1万円)を含めて7万8000円。問い合わせは銀座農業塾事務局(電)03(6277)8000。

「J」は大文字とし、「forest」は大文字小文字を問わない。J

きれいな花を楽しんで作り、出荷場でも笑い声が絶えない。

活動するメンバーは30代、70代と幅広い。高齢化などで栽培から退く人が出ても、声掛けで新規参加があり、産地を保っている。今年参加した5人のうち女性は3人。来々年からの出荷に向け準備に入った。

森林組合のロゴデザインを募集

全国の森林組合連合会は森林組合グループの新たな総称「J・forest(ジェイ・フォレスト)」のロゴデザインを募集している。組織の変革を印象付け、組合員や地域住民の要望に合った施策につながるデザインを求めている。最優秀賞1点を贈り、作者に賞金10万円を贈り、グループのロゴマークに採用する。

の後のよい。

1人

き用紙

(PDF)

のいす

氏名、

職業、

ルアド

送する。

像デー

で同封

着。

応募

047

内神田

森林組

I担当。

03(

1。

花き部会

女性パワー 産地けん引

小菊の荷姿高評価

茨城県のJA北つくばに女性の活動が盛んだ。花き部会は、小菊を中心に女性ならではの繊細さを

生かし、畑を小まめに見回り質の良い花を生産。

ば



アストラゼネカ 大津市(仰木)

大相模 時(17) 傷害致死

力士 罪状

開。日本

000

国で一

や竹林

いる。